

貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/10/23号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

円建て歴史的な高値更新止まらず9618円！

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



予想通り、と言っていいでしょう。ゴールドは大きく上昇の一週間となりました。イスラエル・ガザ情勢は、イスラエルの地上侵攻こそ始まりませんでしたが、その恐れは薄まらず、状況は緊迫度を増しています。ゴールドは前々週の高値引けから、週初こそ少し利食い売りに押されましたが、週中にはガザ地区の病院爆撃を巡りふたたび緊張が高まりゴールドは1920ドル台から1960ドル台へ上昇、その後の上昇も止まらず、水曜日には1977ドル、そして金曜日には1996ドルと2000ドル目前まで上昇し、一週間の終わりは1981となりました。一方米国債は逆に売りが続いており、長期金利は一時5%をタッチする場面がありました。本来であれば同じく安全資産として買われて、利回りは下がっておかしくない状況であるのに、この金利上昇、つまり米国債の売りは異常だと言えるでしょう。その背景はもはや「悪い金利上昇」にあるのではないのでしょうか。米国政府の債務は債務上限が取り外された6月から加速度的に増加しています。つまり国債を発行して資金やりくりしているわけであり（赤字国債）、これにより国債の需給は悪くなり、価格が下がり金利が上がっているというわけです。金利高は普通ではゴールドの弱材料ですが、この金利高は投資家の先行き不安を示しており、逆にゴールドの強材料となりつつあると思います。米国の債務状況の悪化と続く中東情勢の緊張により、ゴールドにはより多くの買いが集まっているということです。一方ドル円は149円台後半でベタ凧状態です。日本の個人投資家の介入期待によるドル売りと金利差による海外投資家の円売りががつつり組み合っているのだと思います。エネルギーがたまっており、動き出すとどちらに大きく動きそうな予感がします。円建てゴールドが大きく上昇し、歴史的な高値も金曜日の夜に9618円をつけました。一週間で320円も最高値を塗り替えたこととなります。それもドル円は全く関係なく、純粋にゴールドの上昇によるものです。現在の状況ではまだまだ上昇余地ありと考えます。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

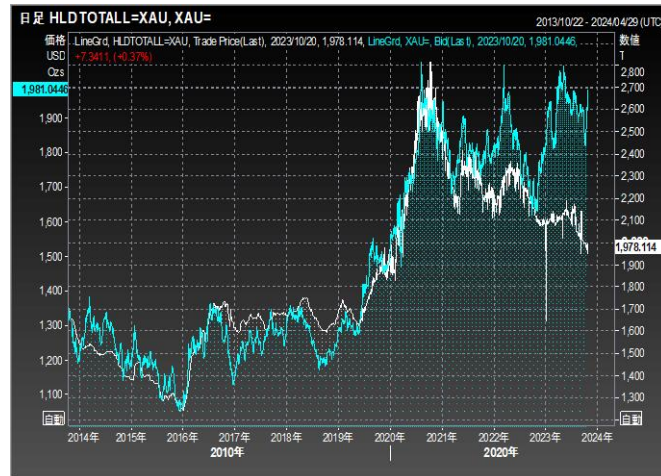
「シルバーの現状」

地政学リスクからのゴールドの上昇はシルバーにも上昇要因となっていますが、これまでのところ、その資金の流入先はゴールドが大部分になっているようです。先週末のLBMA Precious Metals Conferenceではシルバーは非常に割安な状態に捨て置かれているという議論がなされていました。このゴールドに対する割安状態はいつか是正されるはずだと思います。



「プラチナの現状」

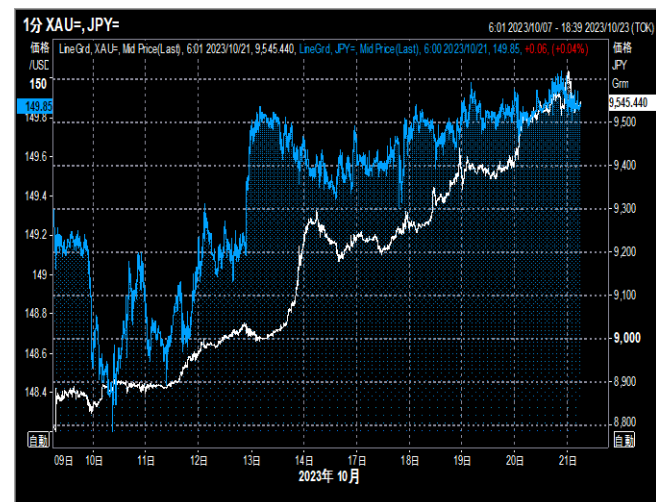
ゴールドとシルバーには安全資産買いが入りましたが、プラチナは蚊帳の外だと言えます。先物市場でも投資家ポジションはゴールドとシルバーがショートから一転ロングへと買い直されたのにくらべてプラチナとパラジウムはショートのままです。地政学リスクがマーケットの最大の焦点であるうちは蚊帳の外状態が続きそうです。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

